

英語科学習指導案

I 単元 Welcome to Japan! ～素敵な日本文化を紹介しよう～

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

①知識及び技能

日本文化を伝えたり聞いたりする際に用いる英語の音声や文字，英語表現，文構造，言語の働きについての知識
日本文化を伝えたり聞いたりする際に活用できる基礎的な技能

②思考力・判断力・表現力等

目的や場面，状況に応じて英語表現を選んだり組み合わせたりし，英語を用いて日本文化を伝え合う力

③学びに向かう力・人間性等

他者に配慮しながら主体的に英語を用いて日本文化を伝え合おうとする態度

(2) 単元の価値

本単元は，"We have～."，"You can～."や"You can enjoy～ing～."等の英語表現を用いて，留学生におすすめの日本文化について紹介したりポスターを作ったりする学習である。その価値は以下のとおりである。

本単元で扱う"We have～."，"You can～."や"You can enjoy～ing～."は，共有している物，できることや楽しめることを伝える英語表現である。また，"You can～."と"You can enjoy～ing～."を比較することにより，動名詞の文構造を理解することができる。さらに，英語表現を書き写したり読み合ったりして留学生に向けておすすめの日本文化についてのポスターを作るとは，英語の文字や英語表現，文構造，言語の働きについての理解を深めることにつながる。

日本文化の中からおすすめの食べ物，行事や遊びを選んで紹介することは，日本文化に対する自らの考えや気持ちを分かりやすく伝えるために，英語表現を選んだり組み合わせたりすることにつながる。

本単元で扱う日本文化は，子どもたちが日常生活で実際に食べたことのある食べ物，体験したことのある行事や遊びであるため，魅力を知っていて紹介したいという気持ちをもてる。また，既習の英語表現を用いて日本文化の紹介に対して質問をすることは，好みやおすすめの場所等を詳しく知ることができるため，日本文化について伝えたり聞いたりすることをより楽しむことにつながる。さらに，日本文化について留学生に伝えることは，日本文化の魅力を正確に英語で伝える必要感を生み，相手意識をもって伝えたり聞いたりしようとすることにつながる。

(3) 今後の学習

ここでの学習は、6年「What do you want to be? ～将来の夢を紹介しよう～」において、「I want to be a～.」、「I can～.」や「I am good at～ing～.」等の英語表現を用いて、将来の夢やその理由を紹介する学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、6年「Welcome to Wonderful Maebashi! ～前橋の魅力と将来についてプレゼンテーションをしよう～」において、「We have～.」、「You can～.」や「You can enjoy～ing～.」等の英語表現を用いて、紹介する人と聞く人に分かれ、前橋にある施設でできることや欲しい施設を紹介し合う学習をしてきた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

① 地域にある施設でできることや欲しい施設を紹介する英語表現を理解してきている。このような子どもたちが、日本の伝統的な食べ物や行事、遊びを紹介する英語表現を理解できるように、紹介する人と聞く人に分かれて相手を替えて繰り返し伝えたり聞いたりする場を設定する。

施設を表す英語表現を英語の音声で発音したり書き写したりしてきている。このような子どもたちが、日本文化についての英語表現を英語の音声で発音したり書き写したりできるように、繰り返し英語の音声を発音するクレイジーマンキーゲームを設定したり、留学生へのポスター用の英語表現の見本や四線入りの学習プリントを用意したりする。

② 「We have～.」、「We can～.」や「We can enjoy～ing～.」等の英語表現を用いて、前橋にある施設でできることや欲しい施設を紹介できるようになってきている。このような子どもたちが、「We have～.」、「You can～.」や「You can enjoy～ing～.」等の英語表現を選んだり組み合わせたりし、おすすめの日本文化を紹介できるように、グループ内で英語表現を確認し合う場を設定する。

③ 相手の理解を確かめながら、自ら進んで英語を用いて前橋にある施設でできることや欲しい施設を紹介しようとしてきている。このような子どもたちが、相手の理解を確かめながら、自ら進んで英語を用いておすすめの日本文化を紹介できるように、Question Listを用いて既習の英語表現を基に伝え合う帯活動を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- ねらい Question Listを用いて既習の英語表現を基に伝え合う活動をし、相手を替えて繰り返し伝えたり聞いたりすることを通して、相手に伝わるように自ら進んでおすすめの日本文化を紹介し、それに対して質問をすることができる。
- 準備 Question List 日本文化の写真
- 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 既習の英語表現を用いて伝え合う。 ・友達はピザが好きなのだ。"What pizza do you like?"を使って何の	○"What～do you like?"や"Where do you recommend?"等の既習の英語表現を用いて日本文化について伝え合えるように、Question Listを提示し、グループ内で外国の伝統的な食べ物について好みやおすすめの場所

ピザが好きか聞いてみよう。

2 本時のめあてをつかむ。

- ・これまでに、"We have～in～."を使って日本文化を紹介してきたな。
- ・"What *sushi* do you like?"や"Why?"を使って質問できたな。
- ・今日は、おすすめの日本文化の紹介をし、質問に答えるのだな。うまくできるかな。

3 おすすめの日本文化を紹介する。

- ・お寿司と紅葉狩りを紹介するぞ。
- ・"Once more, please."と言われたよ。うまく伝わらなかったのかな。もう一度言ってみよう。
- ・今度は"Where do you recommend?"と聞かれたよ。赤城山にこの前、紅葉を見に行ったから、"I recommend Mt. Akagi"と伝えてみよう。
- ・"Nice."と言ってもらえたよ。しっかりと伝わったみたいだな。うれしいな。
- ・友達はお花見の紹介をしているな。お花見のおすすめの場所を聞かれて、敷島公園と答えているな。確かにあそこの桜はとてもきれいだな。
- ・おせち料理の中で、友達は栗きんとんが好きなのだな。ぼくと一緒だな。

4 本時のまとめをする。

- ・お寿司と紅葉狩りを紹介できたよ。友達が好きなおせち料理について"what *osechi* do you like?"を使って知ることができて楽しかったよ。
- ・次回は留学生に日本文化を紹介するのだな。

等を返答・質問をするよう伝える。

○前時までに学習した英語表現を想起できるように、日本文化を紹介する英語表現を問いかける。

○おすすめの日本文化の紹介に対して自ら進んで返答・質問ができるように、Tryシートを基に前時までに返答・質問ができた英語表現について問いかける。

○おすすめの日本文化の紹介をし、それに対して返答・質問をするという本時の見通しをもてるように、ALTとモデルを演示し、話していた内容を問いかける。

○おすすめの日本文化を紹介する英語表現を選んだり組み合わせたりできるように、グループ内でおすすめの日本文化を紹介し合うよう促す。

○おすすめの日本文化を紹介し、それに対して返答・質問をすることを楽しめるように、学級全体で紹介する人と聞く人に分かれて日本文化の写真を用いて紹介し合う場を設定し、Question List を参考にして質問をするよう促す。

○相手意識をもっておすすめの日本文化を紹介できるように、返答・質問をしている子ども同士のモデルを紹介し、話していた内容を問いかける。

○おすすめの日本文化を紹介する英語表現に自信をもてるように、自ら進んで紹介をし、それに対して返答・質問をしている子どもを賞賛する。

評価項目

相手の理解を確かめながら、自ら進んでおすすめの日本文化を紹介したり、質問をしたりしている。
<行動③>

○友達やALTと関わったことについて達成感をもてるように、「英語で伝えられた日本文化」「意識したコミュニケーションポイント」「返答・質問できたこと」を観点として、Tryシートに成果を記述するよう促す。

○次時の学習への見通しをもてるように、Unit Listを提示し、次時の学習内容を問いかける。

指導と評価の計画（全8時間）

目標	おすすめの日本文化を留学生に紹介することを通して、英語を用いて日本の伝統的な食べ物や行事、遊びを表現・理解できる。			
評価規準	(①知識・技能)日本の伝統的な食べ物や行事、遊びを紹介する英語表現を理解している。 日本文化を表す英語表現を英語の音声で発音したり書き写したりしている。 (②思考力・判断力・表現力等)英語表現を選んだり組み合わせたりし、おすすめの日本文化を紹介している。 (③主体的に学習に取り組む態度)相手の理解を確かめながら、自ら進んで英語を用いておすすめの日本文化を紹介している。			
言語事項	Look at this picture. We have (<i>sushi, miso soup, tempura, oshogatsu, hinamatsuri, setsubun, festival, hanami, komamawashi, origami</i>) in (spring, summer, autumn, winter, Japan). We play~. You can (see, eat, display, write)~; You can enjoy (seeing, eating, displaying, writing, folding, juggling, spinning, flying, getting)~. I'm (not) good at it. What Japanese food do you like? I like~. It's (delicious, juicy, healthy, sweet, sour, bitter, salty, chewy, crispy, sticky) .			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つかむ	1	○ALTが出身国の文化について紹介する話を見聞きし、文化を紹介するために必要な英語表現について話し合い、単元のめあてをつかむ。 学習のめあて 留学生に英語でおすすめの日本文化を紹介できるようになる。	○英語を用いて日本文化を紹介できるようにする見通しをもてるように、学級全体でUnit Listを作成する時間を設定する。	◇日本文化を紹介する際にできるようになりたいことについて、発言したり記述したりしている。 <発言・Tryシート③>
	ふかめる	1 ○日本文化を表す英語表現を用いたクレイジーマンキーゲームをし、"I like~." "It's~."を用いて日本の伝統的な食べ物を紹介し合う。 1 ○"We have~in~." "You can~"を用いて日本の伝統的な行事についてできることを紹介し合う。 1 ○"We have~in~." "You can enjoy~ing~."を用いて日本の伝統的な行事について楽しめることを紹介し合う。 1 ○"We have~in~." "I'm (not) good at it." "You can enjoy~ing~."を用いて日本の伝統的な遊びを紹介し合う。 1 ○おすすめの日本文化を調べる。	○日本文化を表す英語表現を発音できるように、日本文化を表す英語表現の書かれたシートとさいころを用意する。 ○日本の伝統的な行事でできることについて英語表現を選んだり組み合わせたりして紹介できるように、グループ内で英語表現を確認し合う場を設定する。 ○日本の伝統的な行事を紹介する英語表現を書き写せるように、英語表現の見本や四線入りの学習プリントを用意する。 ○日本の伝統的な遊びについて英語表現を選んだり組み合わせたりして紹介できるように、紹介する役と聞く役に分かれて繰り返し伝え合う場を設定する。 ○おすすめの日本文化を選べるように、日本の伝統的な食べ物や行事、遊びの例を一覧にした資料を用意する。	◇日本文化を表す英語表現を英語の音声で発音している。 <行動①> ◇英語表現を選んだり組み合わせたりし、日本の伝統的な行事でできることを伝えている。 <行動②> ◇日本の伝統的な行事を紹介する英語表現を四線に書き写している。 <学習プリント①> ◇英語表現を選んだり組み合わせたりし、日本の伝統的な遊びを伝えている。 <行動②> ◇おすすめの日本文化を選んで調べている。 <行動③>
・ま生とかめする	1	○おすすめの日本文化を紹介する。(本時)	○既習の英語表現を用いて質問ができるように、各グループごとにQuestion Listを用意する。	◇相手の理解を確かめながら、自ら進んでおすすめの日本文化を紹介したり、質問をしたりしている。 <行動③>
	1	○おすすめの日本文化を留学生に紹介する。	○英語を用いておすすめの日本文化を紹介できた楽しさを実感できるように、留学生が興味のある日本文化を伝えたり質問をしたりする時間を設定する。	◇留学生に英語を用いておすすめの日本文化を紹介できた楽しさを発言したり記述したりしている。 <発言・Tryシート③>